



【湯の山温泉】

☆浅野藩の湯治場として栄えた由緒ある温泉

広島からは、八幡川沿いに県道41号線を北上、魚切ダムを越えて国道433号線を湯来方面へ、佐伯区湯来支所前の交差点を右折し、少し走ると「湯の山温泉」の案内が見えてくる。左手に道を登ると湯の山温泉館の駐車場に出る。明神社の参道



を登ったところに「湯の山温泉館」があり、すぐして利用されている。泉くの利用者で賑裏山に湯屋と湯の山明神質は単純弱放射能鉱泉でわった。しかし、社がある。万病に効くと言われ人気温泉利用者の減湯の山温泉は、今からがある。24・5℃の源泉少湯治場施設1200年程前に発見さ(加温)をかけ流しにしたの老朽化も進んだと伝えられている。無色透明・無臭のきれいでいるため、氏江戸時代には広島藩が湯の山明神社と湯治場を建の山明神社と湯治場を建の山明神社と湯治場を建

造し、藩主浅野家の湯治場として愛用された。そ出たところに高さ4mか場の「保存修理の後は場所役人を置いらの打たせ湯があり、源の調査・修理計て、庶民にも開放し大繁泉のため冷たいが、温泉画の策定を行つことにな

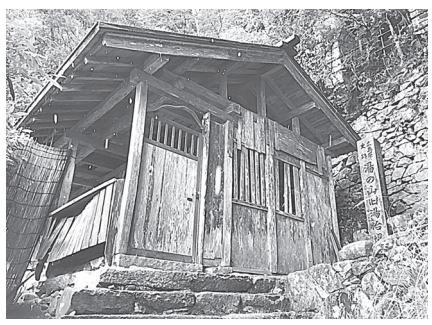


本物の温泉紀行 ⑩

株広島建築住宅センター 常務 山口 邦 良

盛したと言われおり、で体を充分温めて打たせり、(公社)広島県建築士湯屋の壁には明湯に行く、身が引き締会が協力し修理基本設計治、大正時代によりとても気持ち良を策定した、私も一員と湯来町大字多田2563

温泉の効能で病い。繰り返し行つとリフして参加している。地域が治ったというレッシュがで体が軽の歴史ある文化遺産である多くの壁書きがなり、湯上り後は体がポる「旧湯治場」を守り伝残されており、カポカ肌がすすべにえるため、多くの皆様に過去去の繁栄が偲なる。土日には多くの温訪れていただき、温泉に泉好きが訪れている。浸かりながら「旧湯治場」現在、湯屋は1974年2月に「湯の山明神旧湯治場」が国けたらと思う。使用できないがの山明神旧湯治場」が国けたらと思う。また、国道433号線湯出したお湯はの重要有形民俗文化財にすへ下にある温指定され、湯の山温泉館を水内川に沿って遊ば



2009年に建替えした「国民宿舎湯来ロッジ」がある。源泉(加温)かけ流しの大浴場や水内川の流れを眺めながらの露天風呂、サウナなどを日帰り

で楽しむことができる。連絡先||広島市佐伯区湯来町大字多田2563 TEL0829-850111(湯来ロッジ) 入浴料||大人350円 / 1回 700円 / 日 「湯の山温泉館」 大人570円 / 1回 880円 / 日 「湯来口」 (おわり)